

「私と新聞」作文 家族の絆感じて

福島民報社が主催した「私と新聞」親子作文コンクールの入賞作品が決まり、本紙ワイド面で連日、紹介しています。

「私にとって新聞は知識の宝庫であるとともに、家族と語らうことのできる時間をつくる大切なもの」「今の時代を語るだけでなく、時をさかのぼることもできる新聞は、わが家のタイムマシンです」。作品には新聞に寄せるさまざまな思い、新聞を通じて強まっていく家族の絆が つづられています。

読む 知る 学ぶ E!新聞

今年度から新しい学習指導要領が本格導入され、授業で新聞を活用するケースが増えました。子どもたちが楽しく学ぶためにも、まずは家庭で新聞に親しむ環境づくりをしてほしいという思いを込めて企画したのが親子作文コンクールです。

親子が仲良く新聞を広げ、コミュニケーションを深める。そんな家庭が増えることを願い、福島民報社はさまざまな取り組みを進めています。